

# 施工説明書

## ●製品概要

名称		LED投光器 LEDioc FLOOD NEO			
配光性能	超広角タイプ	広角タイプ	中角タイプ	狭角タイプ	
形式	90クラス	ECF0995D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0996D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0997D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0998D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)
	70クラス	ECF0795D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0796D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0797D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0798D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)
	60クラス	ECF0695D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0696D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0697D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0698D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)
	40クラス	ECF0495D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0496D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0497D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0498D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)
	30クラス	ECF0395D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0396D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0397D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)	ECF0398D(N)(W)(LW)(L)(NH)/SAN8/DG(W)
光源色	D:昼光色タイプ(6500K相当) N:昼白色タイプ(5000K相当) W:白色タイプ(4000K相当) LW:電球色タイプ(3000K相当) L:電球色タイプ(2700K相当) NH:ナトリウムランプ色(2100K相当)				
仕上色	DG:ダークグレイ(半艶)		W:ホワイト(半艶)		
質量	90クラス/70クラス/60クラス: 3.5Kg ±10%		40クラス/30クラス: 2.8Kg ±10%		
口出線	600V 2種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル(2PNCT) 1.0mm <sup>2</sup> ×3心 器具外1.5m 先端はんだ処理				
定格入力電圧	100V / 200V~242V	防水性能		噴流形(IP65)	
電圧変動範囲	定格値 ±6%	使用場所		屋外の一般的な場所	
周波数	50Hz / 60Hz	使用温度範囲		-20℃~35℃	

## ●使用上の注意

- 本投光器は定置形器具です。これ以外の用途で使用しますと、発煙・発火・感電・やけど・投光器の落下などによる事故の原因となることがあります。
- 投光器を施工する際は、投光器の口出線を持つての運搬はおこなわないでください。浸水や断線による絶縁不良・LED不点・発煙・発火・感電の原因となることがあります。
- 投光器を構造物に取り付ける際は、被照射面との距離を10cm以上離して設置してください。また、投光器の本体や放熱フィンが構造物に触れないように設置してください。被照射面が10cm未満又は投光器の本体や放熱フィンが構造物に触れないように、距離を保つようにしてください。発煙・発火及び投光器の故障の原因となることがあります。
- LEDを直視しないでください。目の障害の原因となることがあります。
- LEDは白熱灯や蛍光灯などの一般光源と比較して色ばらつきが大きいのが実状です。そのため個々のLEDによる色味が異なる場合があります。また照射距離が近い場合は、照射面によって光むらや色むらが生じることがあります。
- 投光器の周囲温度が35℃を超える場所、直射日光の当たる場所でLEDを点灯した場合、内蔵温度ヒューズが働き、LEDが消灯することもあります。電子部品の保護機能であり温度が低下すれば復帰しますが、このような環境下では使用しないでください。温度上昇により発煙・発火、電源の故障、又はLEDの寿命が短くなる原因となることがあります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。漏電、感電、故障の原因となることがあります。
- 投光器の前面カバーは交換ができませんので、キズなどをつけないでください。破損、防水不良、照度低下の原因となることがあります。また亀裂の入った前面カバーは使用しないでください。

## ●各部の名称 (一部省略抽象化してあります)

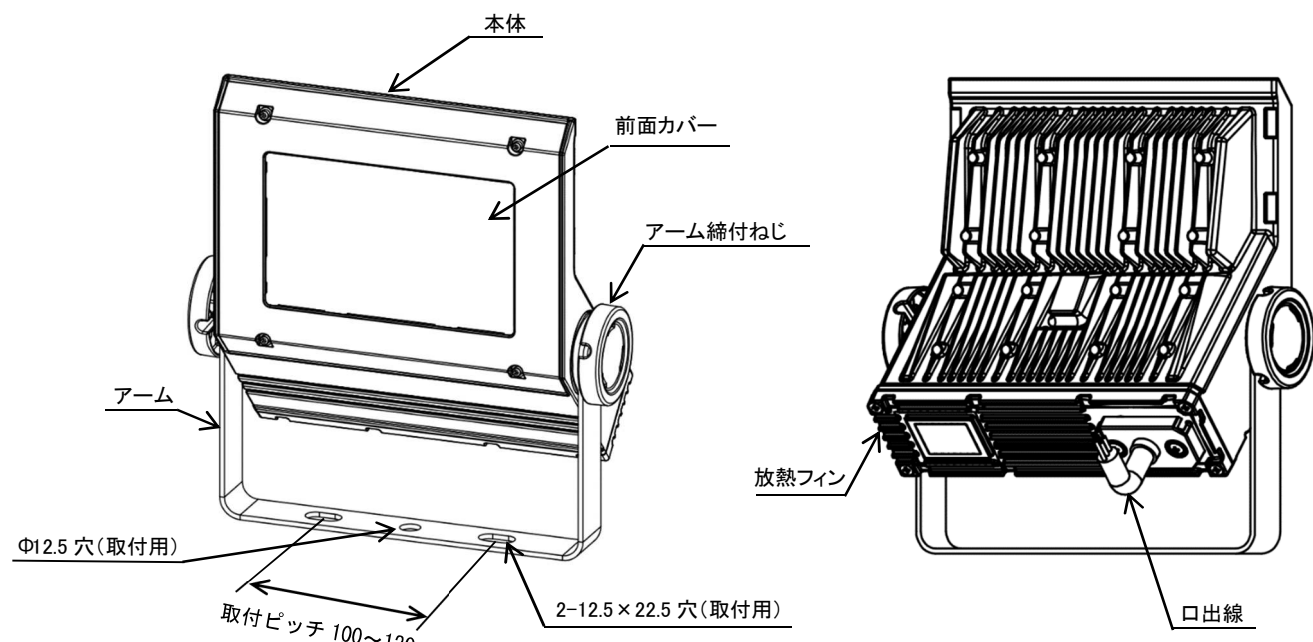


図1

## ●投光器の取り付け

※アクセサリを使用しての構造物への取り付けは別途商品の取扱説明書をご覧ください。

- 投光器のアームには図1のように取付穴が設けてありますので、M10ボルトに平座金、ばね座金、六角ナットの順に入れ、適正締付トルク17~24N・mで緩みのないように確実に締付けてください。構造物などに直接取り付ける場合は、2箇所以上で緩みのないように確実に締め付けてください。構造物にボルトを施設する場合は、図2のようなボルト長さにしてください。締め付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因になることがあります。

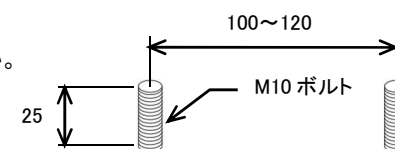


図2

## ●照射角度の調整

- 照射角度の調整は、冷めた状態か点灯直後におこなってください。長時間点灯後は、投光器外郭が高温になるため、やけどのおそれがあります。
- 投光器のアーム締付ねじを緩めて照射角度を調整してください。
- 照射角度調整後、緩みのないように確実にアーム締付ねじを締め付けてください。手での締め付けが不十分な場合は、図3のようにアーム締付ねじの締付用穴に一般形のドライバー(先端径φ6.5以下)を差し込み、締め付けてください。(適正締付トルク12.3N・m)締め付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因になることがあります。
- 投光器の角度調整は5°ピッチです。これ以外の角度で調整すると不十分な締め付けになり、投光器の落下による事故の原因になることがあります。

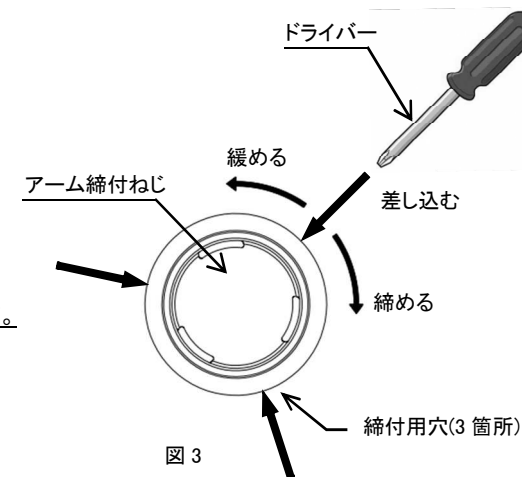


図3

## ●電源線の接続

- 投光器の口出線(3心キャブタイヤケーブル)に接続するケーブルは、600V2種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブル(2PNCT)と同等以上の性能を有するケーブルを使用し、投光器からの口出線の茶色線、青色線に電源線を結線してください。3心のうち緑/黄色線がアース線です。D種接地工事をおこなってください。
- 接続方法
  - 投光器口出線の末端ははんだ処理されています。ジョイントボックスを用いて、差し込み型の端子台(押しねじ式)を使用するか、ケーブルグランド(防水中継コネクタ)の使用を推奨します。ケーブルグランドは投光器の口出線(外径φ0.1)に適合するものをご使用ください。
  - はんだ処理部を使用しない場合は、はんだ処理部を切断し電線の被覆をむき結線をおこなってください。図4のように、突合せ用B形スリーブ等を用いて電線を突合わせて結線をおこなってください。絶縁処理は導体部分のみではなく、シース(外被)部も含めておこなってください。(推奨スリーブ:突合せ用裸圧着スリーブ B形 1.25)不十分な場合、電線からの浸水による絶縁不良や、LED不点の原因となることがあります。

※口出線の接続は電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈第12条に従ってください。(具体的な接続方法:内線規程1335-7参照)

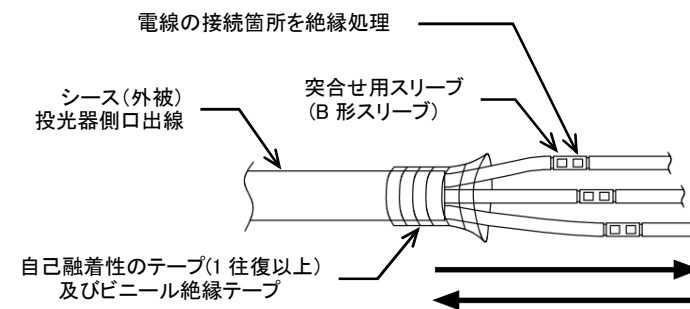


図4

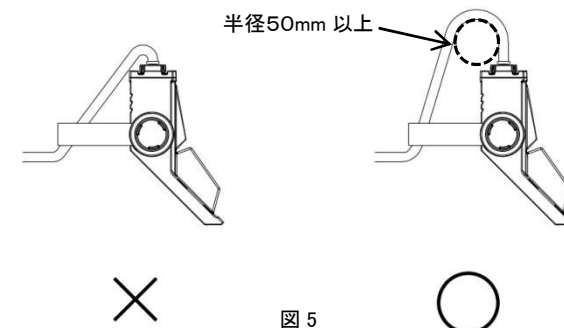


図5

自己融着性のテープにより電線の接続箇所を絶縁処理した後に、投光器側口出線のシース(外被)部から、電源線側のシース部(外被)まで1往復以上テーピングし、更にビニール絶縁テープを巻き、絶縁及び浸水対策をおこなってください。

図5の左図のように器具直近で口出線を曲げる又は引張った場合、口出線の根元より浸水が発生し、故障に至るおそれがあります。特に上図のような放熱フィンが上方になるような器具取付時は、ご注意ください。

## 3. 口出線の引回しについて

- 器具直近で口出線を曲げる又は引張った場合、器具の口出線根元部分より浸水が発生し、故障に至る場合があります。口出線の引回しは図5のように、器具本体部分に十分な余長を持たせうえで引回しをおこなってください。器具設置上、口出線を器具から曲げて引回す場合は、口出線の余長を半径50mm以上、設けてください。